県下土産品コンクール一等受賞
観光銘菓
ずわい蟹入
蟹の鮮
平市二丁目角
製造発売元 金沢屋
電 三二七

三和新報
THE SANWASHIMPO

3月26日（土曜日）

第274號（昭和29年6月17日第三種郵便物認可）
日刊（日曜・祝・祭日を除く） 購読料 1カ月 50円

発行所 三和新報社 平市六丁目 電472番

十六名が出馬、激戦を展開
石城県議選告示、あと一週間

三日の告示を一週間後にひかえ、石城県議会議員選挙は現議員七名、保守新人五名、右社二名、左社二名、計十六名が出馬定員九名の議席をめぐり激戦が展開されるもよう。

県会議員選挙は四月二十三日投票が行われるが告示は二十日前の四月三日、立候補締切は十三日である。

現議員で立候補しないとみられているのは病気中の赤津庄兵衛氏（勿来）と前回衆院選で違反に問われ、このほど判決（公民権停止せず）あった皇友太郎氏（錦）の二人、皇氏は新らしく生れる勿来市の市長候補の噂にものぼっている。ハス沼籠輔（平）小野譲一（磐城）大平正次（常磐）大井川正巳（常磐）沢田源次（田人）木田森之助（夏井）植田萬治郎（四倉）の現議員はいずれも立候補の準備をすすめている。

これに保守系から赤津氏の身代りとして坂本浅次郎（勿来）や前回補選で木田氏に敗れた鈴木喜政氏（内郷）前からチャンスを狙っていた永山忠二氏（川前）の出馬は確定的とみられ、町村議会長の鷲文治（植田）も出馬、菅波茂氏（四倉）も噂にのぼっているが、植田萬治郎氏との調整をどうとるかが注目される。右社は大常磐労組の上に高萩邦男氏（常磐）菊多方部の田畑金光氏の地盤を狙う下山田勇氏（植田）が共に公認されており、左派は古河好間労組を足場として本間政男氏（好間）市民層の革新得票を狙って磐城から医師の金田亮氏（小名浜）が公認決つて出馬を用意している。従つて定員九名をめぐつて現県議七名、保守系新人五名、右社二名、左社二名計十六名が立候補する。

平署、違反検挙打切
次は地方選挙重点

衆院選挙の違反事件を捜査中の平署は二十六日で一応捜査を打切り引続き県議、市町村長および議員選挙の違反摘発に乗り出す。同署で逮捕した衆院選違反者は大河原派三名、高木派八名で参考人として任意出頭を求めたのは五十数名に上つた。

大内捜査係長談＝衆院選の違反摘発は一応打切つた。しかし今後も参考取調べのため任意出頭の形で何人か召喚するかもしれない。引続き地方選挙の選反摘発に乗り出す。

ストで態勢を強化
磐炭労連盟回答不満

十月以降新賃金として家族手当二人二百円、坑内、外夫二律百円の増額、平均月収三千円増しのベースをきめ連めい側と交渉していた磐炭労では廿五日第四回団交の席上回答案が示された。磐炭労では「十五%の賃下げである」として廿六日午前十時半から斗争委員会を開きスト態勢を強化することを確認、午後一時から小委員会で「不満である」と申入れた。連めいの回答内容次の通り

①規準外賃金の取扱いは各社で協議する。

②標準作業量は各社労使間で協議の上修正することが出来るものとする。

③木戸、東亜及び常磐炭鉱については昭和三十年三月一日以降賃金の十五%を減額する。この方法については別途協議する。

④その他は前協定通りとする。

買収容疑者あがる

平署では二十五日高木派の平市赤井浅口農鈴木章氏（四七）を買収容疑で調べた。

渡辺局長ら赴任

東北電通局工作工場長に栄転の平電話局長渡辺儀一郎氏は四月二日午前十時四十一分平発下り列車でまた弘前電話局庶務課長に栄転の平電話局庶務課長佐藤竹喜氏は一日午前十時四十一分平発下り列車でそれぞれ赴任する。

内郷二中で三名善行表彰

内郷二中ではさる廿日卒業式を行つたが三名の生徒が善行表彰をうけたがいずれも感心な少年少女で成績もまた優秀なものである

内郷西区乙ノ五号に住む二年生三組の抜田昭一君は父親戦死のあと祖母と母を助け姉と弟二人のめんどうをみながら通学していたが、姉が働きに出たあと住吉選炭場で働いていた母親が健康を害し寝込んだため家事一切を引受けて奮闘、弟の博英君と母に苦労をかけまいと相談して内緒で新聞配達をやり家計を切まわした近所でも感心な少年の奮闘ぶりに感じ親切の手をのべたほどで今回の表彰となつたもの

現在母は健康を取戻し鹿島坑選炭場に通勤しており姉が家事をみている

三年八組の馬目ミヨ子さんは竹ノ内の祖父で父親は内郷資材勤務であるが、アルバイトで磐女に行つている姉さんの学資を助けようと牛乳配達をしながら学校もまた精勤で優秀な学校成績をおさめた、宮小学校でも表彰をうけたことがありPTAの推センで今回の表彰となつた

三年一組の奥山知恵子さんは蛭子に住み戦災で父を失い母と弟二人で炭礦に移住母は一時内郷給養部で働いたがその後竹の内の米屋に殆んど住込み同様で働かねばならなくなつたので知恵子さんは留守をあずかり一家を切廻して家計を守つた、また学業にも熱心で精勤しており優等賞をうける優秀な成績をおさめた

競輪運営難局へ
平日開催禁止で激減

平市では三十年度歳入予算に競輪収入を一カ月平均三千五百萬円を見込み、年度総収入を四億二千萬円として計上したが競輪の売上げはデフレと娯意気味の影響もあつて月ごとに下降線をたどり二十九年度の月平均売上額は二千三、四百萬円まで落ち、さらに問題になつていた平日開催禁止は土、日曜を中心にして前、後どちらか平日を入れる三日間制、ただし平日は午後から開催という方針がきまり四月から実施指導されることになつたので、さらに大巾な減収が予想され職員の整理をはじめ運営費をきりつめても減収を補うことは難しいものとみられ今後平市にとつて競輪運営は大きな課題になつてきた。

磐・常区会議員家出

常磐市湯本字八仙財産区会議員名幸方松（四五）は十六日午前十時ごろ情婦の同字無職鈴木ハナ子さん（三七）と家出したと妻とも子さん（四三）が二十五日常磐署に捜索願をだした。名幸は去る二十六年常磐労組の生活部長をしていたころにも芸妓置屋ことぶきで芸妓をしていたハナ子さんと姿をくらましたことがあり残された妻とも子さんは生後五カ月の乳呑子ほか五人の子供をかかえて近隣の世話をうけ食をつないでいる。名幸は山にあかるいということろから木材の伐採を区会からたのまれ二十六石（二萬円相当）を無断で売却し生活費にあてた疑で区会の問題となり除名処分にまで現在発展している話もある。

特飲店で盗む

平署では二十六日朝好間村下好間字大館無職千葉栄一（三四）を窃盗現行犯でつかまえた。千葉は二十五日夜平市四丁目特飲店〝宮警〟の接客婦鈴木タイ子さん（三三）のところに泊り腕時計（三千円相当）をかつぱらつてすましていたところ朝になつてタイ子さんが「時計がない」とさわぎだし警察に届けたので「俺は現金四千円を盗まれたので「俺は現金四千円を盗まれた」と狂言をうつたが取調べたところ時計と現金がズボンのポケットから出て御用となつたもの。

支部長に松本氏
教組石城支部改選

第二十一回教組石城支部大会は二十六日午前十時から郡下の小中教員およそ四百名を会場前に集めて平三小講堂でひらき新支部長に松本久（小名浜一小）副支部長に渡辺学（四倉高）書記長に荒川清（好間一小）を決めた。

ハイヤー、三輪車衝突

二十五日午後五時ごろ平市中町公民館前の路上で同市二丁目尼子タクシーのハイヤー＝運転手志賀直文さん（三一）＝と同市鍛冶町いわき貨物運送店の三輪車＝運転手紫崎喜八さん（三〇）＝が側面衝突、ハイヤーは右フエンダー、ライトなど三千円相当、また三輪車も方向指示器も破損した。

赤ちゃんコンクール予選通過者

平保健所管内の厚生省主催〝赤ちゃんコンクール〟県主催〝赤ちゃん大会〟の第二次予選会は二十五日一次予選に通過した百五十六名の幼児について慎重審査した結果次のように推せん者を決定した。

赤ちゃんコンクール＝根本光（小川町上平）遠藤元信（平市牛転）佐藤朝（好間村椎木平）鈴木京子（三和村弓張木）赤ちゃん大会＝石黒千萬徳（磐城市松の中）小野ヒデ子（磐城市船引場）草野三九夫（小川町以後内）小野寺孝子（平市四軒町）佐々木嘉（内郷市殿）佐久間伸子（内郷市浜井場）

平商工会議所議員無競争で当選

平商工会議所の選挙議員（三十五名）の立候補の届出は二十五日しめきつたが立候補者は三十五名のため、二十八日の選挙をまたずに無競争で全員当選した。なおこのうち新人は二十五名、前議員は十名である。当選者次の通り

永山頂猪（平）大谷伝長（平）野沢武蔵（平）五十嵐勇治（平）色川光以（平）吉村輝夫（平）金子重次（平）竹田金一（平）松本桑（平）造（平）佐藤三平（内郷）長谷川常吉（平）大竹芳之介（平）国井一美（平）鈴木文雄（平）山家重吉（平）古山東海（平）正木昌次郎（平）佐藤房次（平）柏原英介（平）滝口豊（平）石山一治（平）岡田健治（平）伊藤退之介（平）伊藤東一（平）安部康雄（平）加藤武久（内郷）志賀子之松（平）大塚駒太郎（平）柴田徳二（平）羽田武雄（平）桑原文治（平）中野豊須美（上遠野）森永太郎（好間）滝口虎雄（平）

百日せき予防注射

平市役所では次の日程で第二回百日咳の予防注射を行う。

◇五日＝草野、平窪
◇六日＝飯野、高久
◇七日＝神谷、赤井
◇八日＝夏井、蟇間

うそ八百票

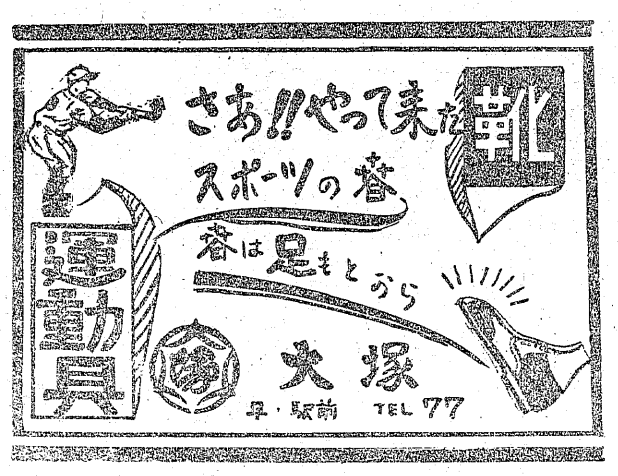
こんどの平市会議員選挙は合併町村をふくめ大選挙区になつたので最少八百票をとらなければ安心できないといわれている。そのためか当然出馬すると思つていた人がつぎつぎと尻込みをし新人の出馬も少く閑散たる風景だ。したがつて候補としてはますます大量の票が必要となつてくる。

口で八百票といつても市会議員の票は一つ一つ丹念に拾つてゆかねばならぬから並大ていではない。ウソ八百というがウソで集める八百票、入れるとウソつく八百票、候補者対有権者の虚々実々、ウソとウソとの色里ならぬ逐鹿場裡でウソからマコトの八百を確票として掻き寄せる「好きでなければできない芸」だ。

平署では衆議院選の違反検挙を打切り主力を地方選挙に向けるそうだ。「やりません」「もらいません」とウソでまるめるちはまだよいが、ウソ発見器などでガマ口の中からトツクリの中まで透視されてはおしまいだ御用心々々。

きものと帯の御用命は
かみや
平市二丁目電256

ねがいのかなうマスコット 藤越
若い人達の守り神がたくさん入りました。人しれず願をかけますと霊験あらたか、しかも室内のアクセサリーにもなるマスコット。贈つても贈られても自づと微笑をさそうものばかりです。
○動物マスコット 一〇〇円より
○手芸人形 三五〇円〃
○ナイロンリボン 二五円〃



高校合格をお祝申上げます
学生服●レンコート大特売！
平市三丁目 盛高屋 電一六〇八
素晴らしいデザイン！
御就職にはゼヒ
背広とスプリングコートを

ラジオUSO　あすの番組

番組がガラリと変ることがありますからダイヤルをまわしても出ないことがあります。

五・〇〇 農家の時間「自分のタネと、他人のタネの見分け方」園芸研究家 池田一夫
六・〇〇 朝の訪問「白紙還元はやるものでない」元代議士 木村清治
六・三〇 朝の音楽「ガヤガヤ狂奏曲」諸橋管絃楽団
ピアノ 金古政通 ヴァイオリン 野沢武蔵 第二ヴァイオリン 多田井笑次郎 トランペット 大谷武雄 指揮 山田磐麿
六・五〇 ラジオ体操「タップ」中島孤舟
七・〇〇 ニュース 佐藤陽悼
八・〇〇 料理講座「牛肉とウサギ肉の見分け方」大塚駒大郎
八 松本庫造三八〇、若松英三三 七二、佐伯政夫三六五 青木安男三四四、佐藤多美夫三四一、小野英二郎三三八 白石初太郎三三一 小井戸庄松三二九、菅波正雄三二七 橋本頭治三二一、大平国市三一、石川伝吉二四九 塚本仲一二四〇、菅野四良二三九、高萩佐久馬二三八、太田守二二七、上野英四郎二二六、大泉利光一九三で、このうち今回立候補しないのは佐伯、菅波、橋本、馬目、比佐、飯島、矢野、高原、石川、本田の諸氏ではないかといわれている。なお落選した者の中で立候補するウワサあるものをみると矢内藤太郎一八一、岡助一一六、高木寧男一五〇、鈴木要一四六、江尻功造一四四、佐瀬誠一四三、渡辺宇之治一一八となっており婦人層からは織内広子女史が出馬するらしい。

常磐市の市会議員選挙は十五日告示で三十日に行われるが立候補するのは三十五、六人くらいでとまるのではないかとみられ苦戦なので暗躍潜行が激しい。前回の戦績をみると旧湯本では柳沼公助四四

紅一点も加わり賑かな常磐市議選
うわさの顔ぶれをみる

行く流の靴

色
菅田 甫

色は自分自身をどこまでも追究する
自分は果してどんな色になり得るかをー
もつといゝ色 もつとみんなの色
美しい色、軽快な色、スポーティな色、量のある色、色の質感、色のダンディ
紅、ライトグリーン、黄、
今年はシャンペン、グレーな色
ーそして、ガラス張り仕上げた加工、艶と感覚は春のそれ
美人は足もとの色から匂つて立つて戒しめらる

型
美の構造がおまえをつくる
足と取組んで 考え考え履きよく
底よく
ラツキーな型は実用第一
スポーツ型は近頃プリユーヴエルト式軽快
改良はつねに改良につぐ
日本全国津々浦々 プラツト靴は
女の誰も彼もが二、三足はある
平易と美の原型にもとづくカツタ1、その色とデザインと間尺は靴を頭と考える頭脳
思ひ出せ!
礼節信義も聖書「ルツ記」に記すその弟の家を立て得ずして非難侮辱を受け 靴をぬぎをる者」として戒しめらる

底
美の探さを探ぐるには
海の底を叩く
行つたり来たりする波の音
永遠がいつもすれちがう
永遠の跫音を聞きながら
フアツチ式靴底には海がある

学校に出かけ散髪奉仕
湯木の米山さんら三人

昨年十一月ごろから毎木曜日学校にでかけてお昼休みに散髪奉仕をしていた奇特なお母さんたちがおります。湯本二小三年生の学級PTA会員である米山ウラさんたち三人でとどやにゆけば金がかかるその分だけ節約させようと誘いあつて奉仕してきたものでこんどは教室がきたないというので手製の雑巾百五十枚を寄贈したが昨年十二月には内郷市の白水町の貧困家庭に衣類三十点をおくつたというかくれた行いもしており感謝されている

〝そば〟〝うどん〟をテーマとした俳句 川柳懸賞募集

〝そば〟〝うどん〟の麺類食は昔から日本の主食として用いられ現代は一日一食、またそばは高血圧者の薬剤に愛食されています、この度〝そば〟〝うどん〟をテーマとした俳句、川柳を左記要領により広く学生、一般から懸賞募集を致します。

応募規定

一、そば・うどんを主題とした俳句 川柳
一、応募期間 三月十五日から三月三十一日まで
一、応募用紙 ハガキ（官製）用紙にかならず住所氏名記入のこと
一、一人何篇でも可
一、作品搬入先は 平市銀座街酒喜庵
一、審査員 鈴木光四郎、善林未篁子、佐々木竹尾
一、発表は四月五日 三和新報紙上及び酒喜庵店前
一、賞品 一席 一名 そば、うどん三十回食分招待券（各俳句、川柳とも同じ）
二席 二名 〃 十五回食分招待券
三席 三名 〃 十回食分招待券

主催 酒喜庵（電一七） 平市銀座街
後援 三和新報社

食肉は

シモフリ牛肉
ロース 百匁 二五〇円を二〇〇円
上肉 二三〇円を一八〇円
中肉 一八〇円を一六〇円
並 一四〇円を一二〇円
売特大
日本メーカーの鎌倉ハムとソーセージ

合名会社 緑屋
本店 平市一丁目 電五三九
支店 平市中央通り 電七九四
社長 大塚駒太郎

開店披露
皆様の食堂として 開店いたしました
何卒よろしく御引立の上御愛顧を賜わりたくお願い申上げます
和洋料理 支那料理 和洋酒 牛めしの 大衆食堂 伊東
平駅前（電一〇三一）

味と安さで 有名だ
郷土の詩 白鳥の雪 銘酒 松の宝
ランチタイム 今日の献立
もろきう 30円
なめこおろし 40円
鳥わさ 40円
なめこわん 50円
ハムサラダ 50円
さざえのつぼ焼 60円
居酒屋 まるす 平市中央通り 1820

櫻まつり平信販御招待大売出し3月20日―4月30日
Columbia コロムビア歌謡大会
信販チケット御利用下さい
技術本位 飯田カメラ店 平市紺屋町 TEL1365
一日一度はパン食て ベーカリー 東京堂 本店 平市才槌小路 電一一〇八 支店 平市三十米通り 電一五九九
デパート 三幸 平市三十米通り TEL一三一五〇六七
春の御支度は 百合 平市三十米通り TEL1817
どこの店にも負けない 秋山時計店 修繕大歓迎 平市駅前 TEL九八一
紳士・婦人服・スプリングコート 学生服・綿バーバリーコート 背広三ツ組・洋服生地 （各種豊富に入荷致しました） 鈴木勘氏商店 平市平和通り 電732 平市一丁目 電1638

平の筒井さん帰る

第二次ソ連引揚船で

ソ連赤十字社から二十三日島津日赤社長へ入つた電報で近くソ連第三次引揚が行われることが明らかとなつた。本県関係者では平市仲間町七九無職筒井重司さん(四七)の実弟元陸軍一等兵筒井重衛門さん(三三)が帰つてくることがほゞ確定的で、家族たちを喜ばせている。重衛門さんは昭和十六年磐中を出るとすぐ十八才で蒙古の特務機関に入り、十八年二月広島野砲第五連隊に転じハルピンの関東軍独立混成部隊でロシア語の勉いくを受けてソ満国境に配属され終戦と同時に戦犯としてタシケント収容所に収容され、二十六年暮からモスクワ東北二十キロのツエーレンツ収容所で通訳を務め最近ハバロスクに移動したもので、元陸軍大将山田乙三、後宮淳、海軍大将黒木剛一氏ら重刑戦犯と一緒である。最近では昨年十二月十四日ハバロスク発信で「元気で暮している。帰国できる日もそう遠くない」旨のハガキを重司さんに寄せている実父の条次さん(七三)は現在娘の訪ヨシエさん(四三)がとついだ耶麻郡中の沢温泉朝日屋旅館に居り母イチさん(当時五十九才)は昭和二十年死亡している。

重司さんの話＝いつも帰つてくるという話をけでヌカ喜びさせられたが今度は本当だろう、二十四日夜中の沢温泉から電話があり重衛門が近く帰つてくることを聞かされた。十四年振りの帰国だから重衛門も大分変つたろう、舞鶴へは妹ヨシエの亭主が迎えに行くことになつておりひとまず老父のところへ落着くものと思う。あんなに会いたがつていた母が死んでしまつたのが残念だ。便りは三年ほど前から十数通きている。

ぜひおらが ヨメに

ニコヨンになつた特飲店の女を

石瀬から職安へ依頼

平職安所労働課に岩瀬郡鏡石村久米石宇借久青山国一さん(四二)から「新聞で平地方に特飲店の女給をやめてニコヨンになつた女性があるが四月選挙を間近にして反対してはあれがとれないと思つたか平市会にはめずらしい円満解決だつた。

ご精が出ますネ

○…常磐市役所では保健所から講師をよんで二十三日から調理師の講習会をひらいているが五日間行い試験の成績がよいものには免状をおさずけになるんだとか。五十にして手習というが旅館のダンナさんやらお神さんやらはや三十年も四十年も御勉強なんかチョ

別れは辛し一等局長

○…「一等局長が転任してしまう」と平電話局は深い悲しみに閉ざされている。三等局役で、おなじみの森繁久彌クンに似てるというので一等局長のニックネームをもらつた渡辺儀一郎氏の仙台電通局工作工場長転出を惜しむ声でアル、「一等局長が去つてもすぐに特等局長が来るよ」と渡辺局長は局員たちの悲しみを吹きとばしているが、局長とでも別れは辛いのでアル。

テープコーダーが欲しい

○…入試合格者発表の二十四日は雪の中から芽を出す春のさきがけはフキノトウだ、ほろにがくそして激しい春の匂いは少さな固いこのつぼみに閉じこめられている。石城の野山ではすでに、ふきのとうが花咲いて、やわらかな陽差しにふくらみ、湯ノ岳おろしにも平気で、白くほうける日をまつている。誰にもつまれず、春の食卓に飾られることなくほつほつとそだつている

どこの高校もひつきりなしに鳴る電話のベルに悩まされ応対に一苦労。「まだですか」「○○番合格してますか」同じような質問に業を煮やした職員連中「まだです」「わかりません」と録音したテープコーダーを用意しとキヤよかつたと大ボヤキ

ふきのとう

雪の中から芽を出す春のさきがけはフキノトウだ、ほろにがくそして激しい春の匂いは少さな固いこのつぼみに閉じこめられている。石城の野山ではすでに、ふきのとうが花咲いて、やわらかな陽差しにふくらみ、湯ノ岳おろしにも平気で、白くほうける日をまつている。誰にもつまれず、春の食卓に飾られることなくほつほつとそだつている

信念の権化助役

○…議員にはいつも頭の低い伊藤助役、二十四日の市会で大嶺庫議員の市営バス問題質問に壇上に立ち声を荒げ、はつしとにらみつけながら「なにが悪い。私は信念をもつてやつている」と胸を張り人を批難するような言葉は慎しみなさい」と云つたところはオ、トワ、ヤばりだつた。

水、水、水

○…市政革新会が〝ザル水槽〟をとりあげれば負けじと市当局は〝好間川水道〟を号外でだし華やかなチラシ合戦、どちらも水に縁があるのでこの勝負、つぎからつぎと合戦が続き〝水が入るんちやあねえか？〟とは行司である市民の声。

すべてこの世は票のため

○…〝治安を守るためまかりならん〟「市民の要望に応えてやれ」とスツタモンダした市会を公会堂に移して開く件は二十四日の本会議の席上満場一致であつさりと解決、四年間居眠りした御人やスネに傷もつ議員は反対したかつたんだろうが四月選挙を間近にして反対してはあれがとれないと思つたか平市会にはめずらしい円満解決だつた。

ご精が出ますネ

○…常磐市役所では保健所から講師をよんで二十三日から調理師の講習会をひらいているが五日間行い試験の成績がよいものには免状をおさずけになるんだとか。五十にして手習というが旅館のダンナさんやらお神さんやらはや三十年も四十年も御勉強なんかチョ

別れは辛し一等局長

○…「一等局長が転任してしまう」と平電話局は深い悲しみに閉ざされている。三等局役で、おなじみの森繁久彌クンに似てるというので一等局長のニックネームをもらつた渡辺儀一郎氏の仙台電通局工作工場長転出を惜しむ声でアル、「一等局長が去つてもすぐに特等局長が来るよ」と渡辺局長は局員たちの悲しみを吹きとばしているが、局長とでも別れは辛いのでアル。

テープコーダーが欲しい

○…入試合格者発表の二十四日は雪の中から芽を出す春のさきがけはフキノトウだ、ほろにがくそして激しい春の匂いは少さな固いこのつぼみに閉じこめられている。石城の野山ではすでに、ふきのとうが花咲いて、やわらかな陽差しにふくらみ、湯ノ岳おろしにも平気で、白くほうける日をまつている。誰にもつまれず、春の食卓に飾られることなくほつほつとそだつている

どこの高校もひつきりなしに鳴る電話のベルに悩まされ応対に一苦労。「まだですか」「○○番合格してますか」同じような質問に業を煮やした職員連中「まだです」「わかりません」と録音したテープコーダーを用意しとキヤよかつたと大ボヤキ

美しき市会

○…二十四日の三月平市会は延々午後八時半まで、緊張疲れが出たかコクリコクリ舟をこぎ出す議員も現れ、傍聴席はねむけざましのバクダン動議が出はせんかと虎視タンタン。光々と照り輝やくシャンデリヤの下にピカピカ光るダイヤモンド頭などがあつてねむたくなり美しい市会であつた。

美しき市会

○…二十四日の三月平市会は延々午後八時半まで、緊張疲れが出たかコクリコクリ舟をこぎ出す議員も現れ、傍聴席はねむけざましのバクダン動議が出はせんかと虎視タンタン。光々と照り輝やくシャンデリヤの下にピカピカ光るダイヤモンド頭などがあつてねむたくなり美しい市会であつた。

青木氏らに感謝状

内郷少年愛護連で

内郷市少年愛護連絡会は、二十七日午前九時から浅野記念館でひらき規約審議役員の改選を行つた後少年の育成に尽力した内郷主婦連合会長ならびに青木水一郎氏に感謝状をおくるほか次の八名を表彰する

遠藤正之、阿部貞雄、菅野則司伊藤与一、後藤正、中野義光、金成政義、鈴木吉雄

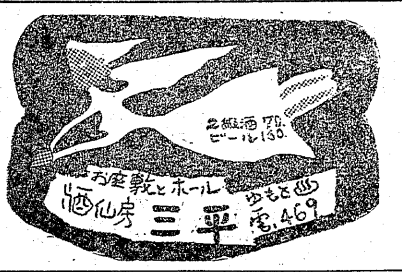
なお愛護連絡理事長山田菅雄氏に対し県警察本部湯浅隊長賞を伝達交付する

御入学御進学を心より御祝して

有名サービス大会

25日▼28日

毎週水ル土ル日ヨ日昼夜バンド付



贈つて便利　受けて重宝　大黒屋の商品券

◈特別奉仕品提供◈

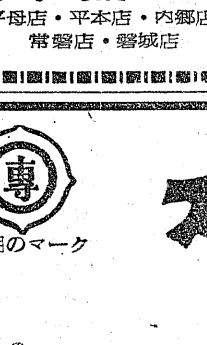
純毛サージ	S調	一〇〇〇円を……九〇〇〇円
〃	〃	九〇〇〇円を……八〇〇〇円
〃	〃	八〇〇〇円を……七〇〇〇円
化繊サージ		三〇〇〇円を……二五〇〇円
〃		二五〇〇円を……二二〇〇円

鐘淵紡績・日本毛織・東洋紡績・大日本紡・片岡毛織等一流メーカー1納毛サージのあらゆる種類！あらゆる品質！あらゆる値頃！を発表致しました

◈各学校制服おあつらえ承り大会◈

時別サービス料金のお仕立　貴方のお好きな品質、値頃で一週間以内に最良のお仕立で出来上ります

……各学校制服発表会……（平母店）



皆様の利益を護る店

大黒屋

平母店・平本店・内郷店
常磐店・磐城店

全店大黒赤札セール

服地・呉服・メリヤス
既製洋服・学用品
御買徳品当日発表

かばやき　寿司　天婦羅　釜めし

美術印刷　江戸川

紅小路店　電一四五六
才槌小路店　電一〇二二

店舗移転お知らせ

このたび店舗を左記へ移転し従来通り営業を継続することになりました

何卒旧に倍し御愛顧御引立のほどお願い申上げます

新住所　平市二丁目四八（平館前通り）

各種塗料・溶剤附属器具機械販売

ダイヤ塗料商会

代表者　橋本保

電話（平局）二三五一番

二三章堂　6丁目電472

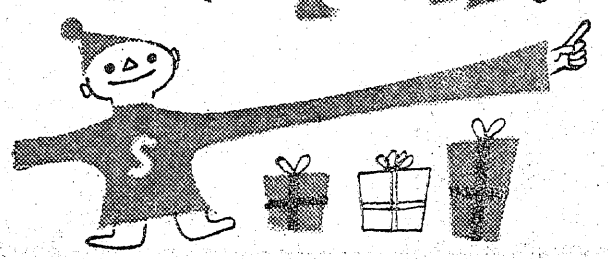
◎正札で良い品を買いましょう！◎

「正札運動」全国売出し

専　信用のマーク

スプリングセール！

10万円特賞



3月25日から
4月10日

正札運動期間中千円お買上毎に感謝券呈上
補助券は全国日専連の店共通

特賞　100・000円…50本

1等	5000円…500本	4等	200円…25000本
2等	1000円…1000本	5等	100円…30000本
3等	500円…3500本	等外	空くじなし

（特賞は5月10日東京に於て抽せん　1等以下は三角くじにて即時抽せん常陽銀行ギフトチエツクにて差上げます）

主催　日本専門店会連盟　平専門店会

お好み血煙り荒神山 四幕

禁無断上演、映画化

第一場　中好間の場

中好間小田吉次大親分の奥の間上手に小田親分、木村親分がドッカと大あぐらをかいている。右手に諸橋親分、大泉の信雄、野沢の武蔵、坂本の昌蔵らが控え左手に野崎親分、萩原の義雄大巌の庫、永山の勇吉のメンメンがひかえ、息詰るキンチョウぶり。

木村「おお、諸橋で…」

諸橋「ハイ」

木村「おお、野崎で…」

野崎「ハイ」

木村、小田「遠い石コロ道を、わざわざ来てもらったのはホカでもねエ、おめエさんたちが、平一家の平和を乱れ仲間同志の血の喧嘩、考えてみると、どっちが勝っても恨みは萬代、平一家に大きな黒星、ここをなんとか分別つけて、マンまるく納まらねエもんか、きょうはトツクリ、おめえさんたちの量見がききてえンだ…どうだ…野崎で…」

野崎「へえ…親分さんたちの御心ペエいたみ入りやす、あツしとしては是が非でも出なけりゃならねえ喧嘩じゃねえ、諸橋一家が手を引きなさるというなら、あツしや何もいうことは、ございません」

木村、小田「それでは、野崎で…」

野崎「えーえー、お二人におまかせしやす」

木村、小田「諸橋で…」

諸橋「へえ」

木村、小田「きいての通り野崎一家は手を引くといっているそツちの量見は…」

諸橋「むーむ…」

木村「さア、さア」

小田「さア、さア…」

諸橋「俺ア…」

木村「俺ア？…俺ア承知か」

諸橋「ムニヤ　ムニヤ　ムニヤ　ムニヤ」

木村、小田「ムニヤムニヤとは承知のことか、異議がなければ、さアみんな、固めのサカズキだ、両手をひらいてシャン　シャン　シャン」

一同「オシャシャンのシャン」

第二場　ブラジルの場

三月二十二日午後三時　ブラジル山のテツペン、市政会一家の多田井の笑次郎、大泉の信雄、野沢の武蔵、坂本の昌蔵、水竹の伊之助ら、ハチ巻姿で、革新会一家のなぐり込みを待っている、そこへドヤドヤと、萩原の義雄を先頭に、永山の勇吉、大巌の庫、柴田の徳二、渡辺の久ら、殺気をはらんだ面持で入ってくる

革新会一家「ヤアヤアヤアヤアツ！」

市政会一家「来たゾツ、ヤアヤアヤア」

大泉の信雄「お待ちなせえ…話せばわかる」

萩原の義雄　問答無用だツ」

多田井の笑次郎「お静かに…どうしてそんなにコーフンなさる」

萩原「知らざアいってきかせよう…」

大巌「諸橋は引ツ込むカツ　返答だツ」

萩原「忘れもしねえ十六日、小田大親分宅の奥の間で、シャンシャンと固めの手打ち、その舌の根もかわかねエうちに　諸橋一家は出る出る立つ立つの公約無視、とるに足らねえ三下ヤツコならいざ知らず、レツキとしたガン首を並べた市政会一家が諸橋親分一人を料理できねえようじゃア、今後おいらの相手にや出来ねエ、さア、諸橋親分は出る気か出ねエ気か、キツパリ返答…むーしてもれエてエもんだア…」

チョンチョンチョン

第三場　五丁目の場

諸橋親分、あぐらをかいているそこへ多田井の笑次郎、大泉の信雄、坂本の昌蔵、野沢の武蔵水竹の伊之助の五人入って来る

一同「親分、今晩は……」

諸橋（太い眉をピクリと動かし）「今迄どこをウロウロしていた」

一同「へえ、あっちこっちを……」

諸橋「今夜の用件は何んだ」

多田井の笑次郎「親分」

諸橋「なんだア」

多田井「親分は、こんどの市長選にどうしても出る気で…」

諸橋「出るも出ねエも、はじめから出る気だ」

多田井「どうしても…」

諸橋「くどい、出るといったら、出るんだツ」

一同「へえ……」

諸橋「月にムラ雲花に風」

第四場　二丁目の場

舞台正面はランマンをる桜、それをバツクに両派のチャンチャンバラバラがみえ、ヤア、ホウというカケ声がきこえる。左手花道に近くセリ出しが上ってくる。ドツカとあぐらをかいた関内の正一大親分。セリ出しは音楽につれて静かに上る。関内の正一「テモ、賑やかな…ナガメじゃなア…」

諸橋「なにを…」

正一「ヤアヤア諸橋、市政会一家の者ども、ここをどこと心得る、ブラジル山のテツペンだぞ、ここに上ったからにゃ、ソウ簡単に下りられねえ筈だ、ソレ、ソレ、ソレ」

諸橋「ヤアヤアヤアヤアツ！」

正一「ヤアヤアヤアヤアツ！